

第5回下川町総合計画審議会（全体会議）会議録

日 時 令和3年12月13日（月）

18：30～19：20

場 所 総合福祉センター「ハピネス」

【出席者】

下川町総合計画審議会委員

麻生会長、川島副会長、瀬川委員、伊藤委員、山崎委員、高松委員、高橋委員、金澤委員、及川委員、田中委員、山田委員、三津橋委員、渡邊委員、奥村委員、野崎委員

下川町

田村課長、亀田主幹、河合主任、大西主事

1 開 会 18：30

2 会長挨拶

先日、町長に対して中間報告をし、行政評価の内容について細かくお話をする機会をいただいた。今回は、各課の見直した内容を踏まえながら、審議していただければと思う。

3 案 件

(1) 令和3年度総合計画の見直しについて

町 : 概要説明

委員 : 資料1で、令和2年度の変更前と後を比較しているが、これはどういうことか。

町 : 令和2年度については、変更前が計画額、変更後は決算額を記載している。今回の見直しは、令和4年度以降について見直しをしている。

委員 : 臨時財政対策債とは、国から借り入れたお金だけど、利子は実質かからないということなのか。

町 : 臨時財政対策債は実質的な地方交付税である。一旦市町村に借金をさせ、後年度において、利子だけではなく元金も含めて、元利償還額の100%が戻ってくる仕組みである。

委員 : 元金と利子も戻るのか。

町 : その通り。毎年の元利償還見合い分が地方交付税で算入される。

委員：財政運営基準が順調に推移している。町の財政は良好と判断して良いか。

町：お示しのとおり、財政運営基準は順調に推移しており、また、令和2年度決算においても、ほぼ計画値と同程度となっている。その一方で、後年度になるにつれて内容が具体化し、事業費が膨らむ傾向にある。

委員：令和4年度の地方交付税が2億4,000万円増えている要因は何か。また、令和4年度の補助金事業（事業補助）が変更前後で増えている理由は何か。

町：地方交付税は令和4年度の概算要求が前年比0.4%増となっているのも要因。事業補助が増えているのは、森林組合整備事業の追加や畜産収益力向上クラスター推進事業が増えている。

委員：資料1について、変更前後の比較が表ごとではなく、上下の行に記載されていると分かりやすいので工夫いただきたい。

4 その他

町：内容説明（スケジュールの確認など）

委員：昨年度の審議会で答申された内容が、その後どうなったか聞いても良いか。

町：聞いていただければと思う。

委員：森林組合事務所整備に対する補助事業が計上されている関係で、どの条例に基づいて補助率を設定したのかなどについて、部会で確認したいと思う。

町：その旨、担当課長に伝えておく。

5 閉会 19:20